

平成
28年度

株式会社ヤマヨテクスタイル

ハイゲージ丸編機導入による生地安定供給とニット市場の拡大



会社紹介

ナンバーワンニットメーカーの使命感と誇りを胸に
時代が求める丸編ニット生地を世に送り出し続ける

昭和9年(1934年)創業のニットメーカー「株式会社ヤマヨテクスタイル」。モットーは変化を恐れず、信念を貫くものづくり。常に相手の立場に立ち、機能性とファッション性を兼ね備えた新しい生地を市場に提供し続けている。これまでスポーツウエアのニット製造を専門とし、歴史と伝統に培われた技術者が、新旧さまざまな編機に工夫を加えて、いまだかつて誰も創ったことのない生地の開発に挑戦。「無理を承知で無理をせよ」というのが同社のポリシー。ラグビーなど日本代表選手が着用するジャージーから有名スポーツブランドの各種アイテム、さらにその広がりには紳士服や婦人服、制服にまでおよび、薄くて軽くて伸びのあるニット生地の特性を生かして、新たなジャンルを切り開く。持ち続けているのはナンバーワンニットメーカーとしての使命感とMade in WAKAYAMAの誇り。ものづくりに真摯に向き合い、信頼と感動を編み込んでいる。

常務取締役
営業本部長

橋本

長治

補助事業

ワイシャツの常識を変えた
完全ノーアイロンのニットシャツ

当時、スポーツシャツとして開発した同社の生地をビジネスタイプのニットシャツとして実用化する動きが、大手メーカーと衣料量販店の3社連携でスタートしていた。これまでビジネスタイプのワイシャツは圧倒的に織物のシェアが高く、ニットシャツといえばカジュアルゾーンが中心。そこで市場から求められるビジネスゾーンに適した生地の開発に着手。ノーアイロンでシワにならず、ハリ・コシ感を出し、生地を軽量化。さらに透けにくく、柄のパリエーションづくりにも成功。市場ニーズに応えたヒット商品となった。売上も順調に推移する中、さらに市場から多種にわたる柄のパリエーションの要求等があり、それに対応する機器として「36ゲージ・シングル編機」の導入が急務となった。



成果

緻密な柄にも対応する希少な新機種
他社との優位性を持続し広げる可能性

新たに導入した編機は、編針の種類とジャックと呼ばれる中心軸となる部分が特徴。これまで柄を新たに創り出すためには、数千本の編針を入れ替える必要があったが、導入した編機は中心軸のジャックを操作することで従来の数倍の対応力となり、さらに糸や柄の変更に要する作業時間が半分以下になった。しかも編機やジャックの組み合わせ次第で、柄のパリエーションは現在の250種類よりさらに広がり、作業時間の効率化や生産性も含めて、多品種・小ロットのニーズに十分対応することができるようになった。

これまでの実績に対する信用力や生産能力、技術力に加えて、この新機種の編機が同業他社の中ではほとんど所有していない強みを生かし、今後もニットシャツ部門の優位性を持続し、スポーツ関連としては、コロナ禍で延期になった東京オリンピック・パラリンピックからも一定のシェアがあり、ビジネスチャンスを広げている。



今後の展開

Made in WAKAYAMA を掲げ
学生服プロジェクトから始動

ストレッチ性も兼ね備えたノーアイロンのニットシャツ生地は、さまざまな分野に応用が可能。今後、新市場として期待できるのが、ニット製のビジネススーツ(ジャケット・パンツ)。防シワ性に優れるため家庭の洗濯機で洗え、軽量感と適度な伸縮性で快適な着心地。さらにユニフォーム分野においても、従来の織物からニットへ流れが移行。現在、生地製造から縫製までMade in WAKAYAMAを掲げた学生服のプロジェクトが進行中。ニットで地元PRにも貢献している。

会社概要

会社名	株式会社ヤマヨテクスタイル
代表者	代表取締役社長 山下 郁夫
所在地	和歌山県西牟婁郡上富田町岩田2878-1
資本金	5,000万円
従業員数	150名
業種	丸編ニット生地製造、販売
設立年月日	昭和9年11月創業
TEL	0739-47-2128
FAX	0739-47-2744
E-MAIL	yamayo2@pearl.ocn.ne.jp
URL	http://yamayotex.co.jp